

# 早 稲 田 都 市 計 画 フ ォ ー ラ ム FORUM NEWS

Vol.3  
1995.1.9

## 連続セミナー第2回「アジアのまちづくりとNGO」開催 94.10.15

### アジアの自力のまちづくりとNGO

山中山田造形舎 山中公一  
いまその多くが平和の訪れと経済発展を迎えたアジアの国々。それに伴い人口の爆発と都市への流入、不法占拠とスラム形成という新たな問題も起こっている。過去の行為への反感も根強いものの、これらの国が問題解決のために「おしんの国」G7に名を連ねる「経済大国」へ期待するのは大きい。いま日本はアジアの国々の自力によるひと、まち、くにづくりに、同じアジア人としてなすべきことを真剣に考えねばならない。それは、西欧一辺倒の価値観の見直しから始まるように思う。まちづくりも例外ではない。

#### 1. 基調講演「アジアのまちづくりにおける課題について」

内田雄造（東洋大学教授）  
生活・空間は施設や住宅の水準は劣悪でも、コミュニティがあり、集まって住む楽しさのあるものも多いアジアのスラム。このような生活空間の継承のため、そのインフラ・プラムトには住民の積極的な参加（コミュニティの組織化、自立）が不可欠。従来のスラムの環境改善施策は多くの問題を抱えていたが、1980年代から国際機関により Enabling Strategy が提唱された。スラムに居住する貧民層に対しては行政当局や NGO が協力し On Site を基本とする道路、上下水の整備などの インフラ・プラムトが現実的な解である。

#### 2. ベトナムの市場経済化とまち並み保存

山中公一（山中山田造形舎）  
中国から多くの影響を受け、日本と文化的に多くの共通点を持つベトナム。ドイモイ政策で急激な経済発展が始まり、

まちづくりが発展の速度に追いつけないでいる。

現在、彼の地の建設省都市農村規格院のメンバーとともに研修、視察、共同プロジェクトを通して歴史的町並みの保存、インフラ整備などにベトナムの計画家の支援、日越共通の価値観の発見などの可能性を模索中。

#### 3. マニラ郊外における中低所得者層向けのローコストハウジングの試み

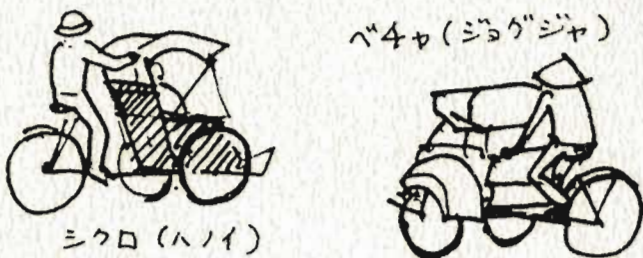
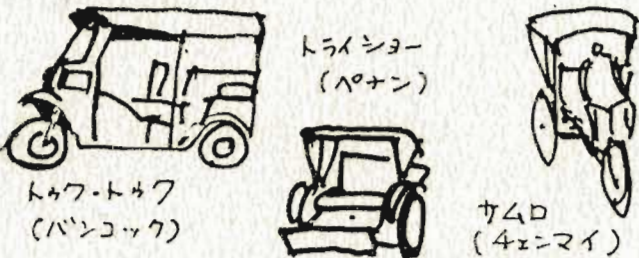
大月敏雄（東大大学院・ポンの会）  
東アジア最大のスラムと呼ばれるトンド地区での住民主体の住宅改善のこころみとNGO活動。SAPSPA（住宅の建て替えとそれへの融資を柱とするNGO）の活動。応募による低利融資と建設参加、組織運営へのボランティア参加。同様の活動としてFreedom To Buildがある。

#### 4. 冬山河親水公園計画 1986～

内田文雄（Team Zoo 龍環境計画）  
フィールドワークにもとづき、先住民族「雅美族」の島の住居形態にヒントを得、もともとのボートの艇庫施設の計画を、台湾の戒厳令解除とあいまって、親水公園として発展させた。できあがったものは台湾とも日本ともつかない新しい造形となった。

#### 5. カンボジア/その社会と住宅環境—首都プノンペンの現状と今後—

中村哲也（都市地域計画 中村研究室）  
独立以来激しい人口変動を繰り返す、ポルポト時代には無人となりその後暫時人口が増加してきたプノンペン。それに伴って流入者のつくる不良住宅地が現れ始めている（特に1991年以降が活発）。それらを現地の大学生とともに調査し配置図や断面図などに起こす作業をしてきた。



### 連続セミナー第5回「都市再開発と住民参加」

法定型の再開発事業を中心に、再開発事業をとりまく昨今の情勢の変化を念頭に置きながら、都市再開発における地元、周辺それぞれの住民参加のあり方について討議し、その上でこれから望まれる再開発のあり方について論議します。

- パネラー：佐藤 滋（早稲田大学教授） 寺前 寛（建設省都市再開発課）  
卯月 盛夫（世田谷区まちづくりセンター） 伊藤 寛（仙台市宮城野区役所）  
黒崎 羊二（まちづくり研究所） 小松崎 肇（横浜市都市計画局）  
佐古 倫平（住宅・都市整備公団住宅都市試験研究所）
- コーディネーター：田中 滋夫（都市デザイン） 曾根 伸穂（アイデック計画）
- 開催日時：平成7年1月14日（土）午後1:00～5:00
- 会場：早稲田大学理工学部キャンパス5号館N棟1階大会議室
- 申し込み方法：参加者の氏名、所属、連絡先を明記し、FAXでフォーラム事務局に申し込む。（FAX 03-3207-8137）
- 問い合わせ：早稲田大学理工学部建築学科佐藤研究室 TEL/FAX 03-3205-2897
- 参加費：会員 2000円、非会員 3000円、学生無料

### 連続セミナー第6回「土木とシビックデザイン」

公共土木施設及びこれらにより形成される都市空間の計画・設計の概念であるシビックデザインを対象に、その意義、現状及び課題について討議し、良質な社会資本整備のための今後の展望と関係者の役割を探る。

- コメンテーター：中川 義英（早稲田大学教授）
- パネラー：宮下 英一（住宅都市整備公団） 松村 茂（東京大学）  
（予定） 大月 隆行（ランデス） 佐久間 治（東京工業大学）  
その他自治体計画系関係者
- コーディネーター：上野 俊司（オリエンタルコンサルタンツ）
- 開催日時：平成7年2月18日（土）午後1:00～4:00
- 会場：早稲田大学理工学部キャンパス5号館2階第3会議室
- 参加費：会員 1000円、非会員 2000円、学生無料

今後の連続セミナーの予定  
第7回 3・18（土）「都市居住と住宅政策」 担当：村林 正次（住信基礎研究所）、他